

発見! 甲賀の自然

第16回 身近な冬の野鳥たち

～身近な甲賀の自然から、興味深い話題を紹介します～

12月になり、毎朝、冷え込みを実感します。秋の虫の音も静まり、枯れた野山では生き物の気配が乏しくなります。

しかし、じっと景色をながめていると、野鳥たちは元気に活動しています。鳥は人間と同じく、体温を自分でつくり暖かい羽毛で熱を逃さないのです、寒い冬にも動けるのです。

実は、市内の人家周辺の野山や公園では、冬から春には、夏の2倍以上(40種を越える)の多くの種類の野鳥が観察できます。これは、より寒い地域から冬越しに来る冬鳥が増えるからです。冬鳥は、永久凍土のあるシベリアなど北方、北海道や本州の山岳地帯など涼しい地域で、夏の間の子育てをし、秋の終わり頃から飛んで来る渡り鳥なのです。田畑で見かけるツグミ、ジョウビタキ、

アオジ、アトリなど身近な冬鳥も多くいます。平地の林では、鈴鹿山脈から降りてくるカケスやアカゲラ、ヒガラなども冬限定の仲間です。

自然館では、12月22日(水)から身近な甲賀の野鳥について特別展を行います。ご関心のある方はぜひ、ご来館ください。



◀ツグミ(白い眉と背中
の赤茶色が特徴)

問い合わせ みなくち子どもの森自然館
☎ 63-6712 ☎ 63-0466

市史の45小径

甲賀戦国の城へようこそ 甲賀市史第7巻 「甲賀の城」刊行!!

全国的に戦国時代やお城に注目が集まる中、『甲賀市史』全8巻のうち、その3冊目となる第7巻「甲賀の城」が刊行されました。

市の歴史を語る上で見逃すことができないのが、戦国時代のほぼ100年間に200余りが築かれたというお城の存在です。その多くは四方に土塁と堀をめぐらした「土の城」ですが、戦国甲賀の主役であった「甲賀衆」の活躍を直接知ることもできる甲賀らしさにあふれた史跡として、全国的にも注目を集めています。



▲甲賀市史第7巻「甲賀の城」

本書は180にのぼる市内の城郭遺構を4年の歳月をかけて現地調査を行い、詳細な縄張図や、最新の研究成果に基づいた解説によって詳しく紹介するとともに、城郭探訪のガイドとなるカラーブックレット「甲賀戦国の城を歩く」を同梱。この一冊で魅力あふれる甲賀のお城の全ぼうがわかります。ぜひご購入ください。

B5判 本文約510頁
上製本・函入り・写真図版多数
【販売価格】 3500円

【販売場所】

〈水口町〉ブックショップヤマカワ・ブックストア
ヤ・山田書店・TSUTAYAさんぽーど・水口
歴史民俗資料館(土山町)ウエフ・道の駅あいの土
山・新名神土山サービスエリア案内所・土山歴史民
俗資料館(甲賀町)かふか生涯学習館(甲南町)ウ
イング甲南店・市史編さん室(信楽町)大宝堂会川
書店・信楽伝統産業会館・信楽高原鐵道信楽駅・県
立陶芸の森産業展示館・信楽中央公民館

※予約申込の方は指定の施設でお引き換えください。

問い合わせ

歴史文化財課 市史編さん室
☎ 86-8075
☎ 86-8216